

八戸学院大「強化指定部」14団体認定

部活×勉強 両立を支援



八戸学院大学(水野眞佐夫学長)は本年度、スポーツと学業の両立を支援する「強化指定部」に14団体を認定した。8日、同大で壮行式が行われ、認定された女子サッカー部の横濱菜奈主将は「強化指定部の選手として誇りを持ち、勉強や部活動などに精いっぱい打ち込む」と誓った。

強化指定部は同大が独自で続けている制度。活躍が期待される部活動を認定し、資金を支援したり大会や遠征などで勉学の遅れや進級に影響が生じないよう、授業の進行に一定の配慮を行っている。

(高松拓輝)

遠征費など援助／授業進行に配慮

強化指定部は同大が独自で続けている制度。活躍が期待される部活動を認定し、資金を支援したり大会や遠征などで勉学の遅れや進級に影響が生じないよう、授業の進行に一定の配慮を行っている。

同大によると、現在学内で活動している部活動・サークルは24団体。このうち認定されたのは、硬式野球部や女子サッカー部、自転車競技部など13運動部と演劇部の計14団体(405人)で、今回初めて弓道部が認定された。

式では認定された部活動の代表者が一人ずつ登壇し、水野学長から認定証を受け取った。水野学長は「それぞれが掲げた課題に挑み八学大旋風を起こしてほし

壮行式で、水野学長(手前)に誓いの言葉を述べる女子サッカー部の横濱主将